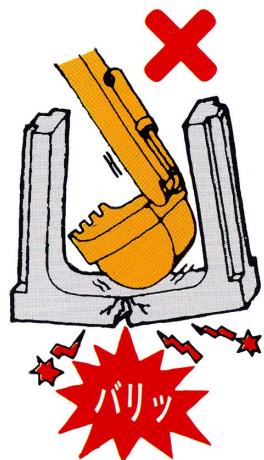


取扱いは、そっとやさしく



高さの調整に無理は禁物

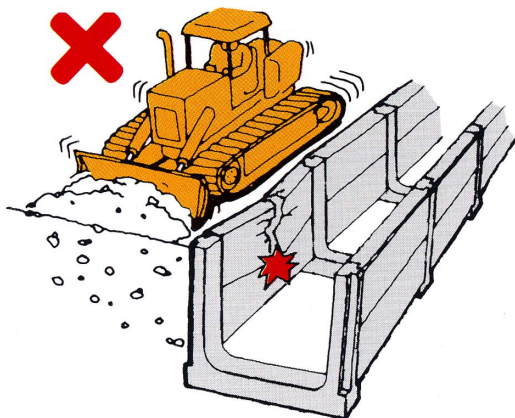
柱の設置高さを調整するためにユンボで衝撃を与えたり、タコなどでたたくという無理はしないでください。クラック(きれつ)が発生する危険があります。

掘り起こした土の土圧にご注意！



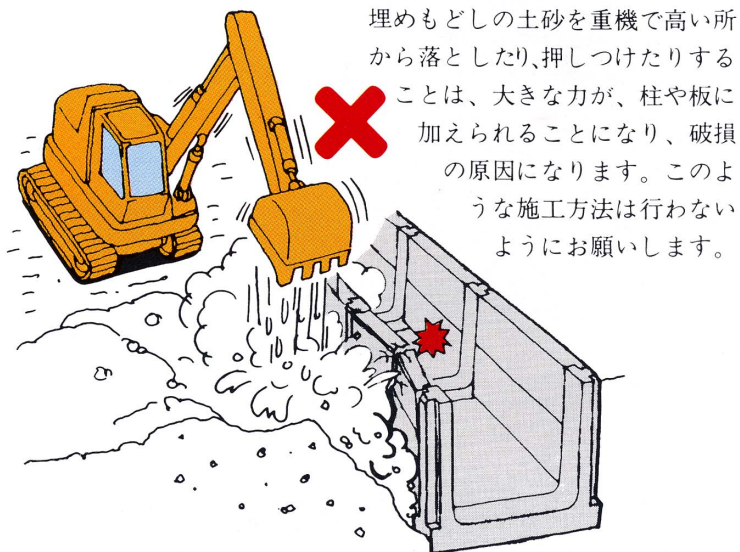
水路巾の大きい水路の場合には掘り起こす土の量が多く、その圧力も予想以上に大きいものです。特に雨などで土の内部摩擦角の小さくなった土圧力は、設計荷重以上となる場合があります。柱と板を破損する危険があります。掘り出した土は水路からなるべくはなれたところへ積み上げるようにして下さい。

重機の通過にご注意！



施工後の水路に重機やトラックをいちじるしく接近させると、これらの荷重や振動によって、柱と板に影響を与えることになります。できるだけはなれて通るようにして下さい。

重機の使用で、気をつけたいこと



埋めもどしの土砂を重機で高い所から落としたり、押しつけたりすることは、大きな力が、柱や板に加えられることになり、破損の原因になります。このような施工方法は行わないようにお願いします。

埋めもどし土砂にご注意！



水分を多量に含んだ泥土を埋めもどしに使うと、土圧が設計より大きくなり、柱や板を破損することになります。できるだけ乾いた固い土砂を使うようにして下さい。